

道徳科学習指導案

指導者 中村 基子

- 1 日 時 平成29年12月1日（金） 3校時（10:30～11:15）
- 2 学年・組 第1学年月組 28名
- 3 主題名 よく考えてよいと思うことを ＜内容項目 善悪の判断 A（1）＞
- 4 教材名 ぼんたとかんた （わたしたちの道徳）
- 5 ねらい 大きな声で「行かないよ。」と言ったぼんたの気持ちを考えることを通して、よいことと悪いことの区別をし、よいことを進んで行おうとする道徳的心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

人は、生きていくうえでさまざまな課題に直面する。人としてよりよく生きるためには、そこで生じた葛藤を乗り越えて、よいと思ったこと、正しいと思ったことを積極的に行動していくことが大切である。特に、価値観の多様な社会を主体的に生きる上での基礎を培うために、よいことと悪いことの区別ができるようにすることは重要である。

人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、児童が幼い時期から、徹底して身に付けていくべきものである。よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じるころにしたがって行動できるようにしなくてはならない。そのためには、何事にも積極的に取り組む気持ちが大切である。低学年は、何事にも興味・関心を示し、意欲的に行動することが多い。その反面、恥ずかしがったり引っ込み思案になったりすることも少なくない。そこで、よいと思ったことができたときのすがすがしい気持ちを想起させ、正しいことは進んで行おうとする意欲と態度を育てていきたい。よいことをして認められたり励まされたりすることで、行動の意欲がさらに高まったり、周りの児童も進んで行動しようとする意欲を持ったりすることができると考えられる。

本時は、児童一人一人がよいこと、悪いことの区別ができる力を養うとともに、よいと思ったことは進んで行おうとする道徳的心情を育てたいと考え、この主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、明るく活発で何事にも興味・関心を持つ児童が多い。2学期も後半になると、学校生活のルールもわかり、よいことやよくないことの区別ができるようになっている。しかし、「おもしろそうだから」「楽しいから」という気持ちに流されたり、「友達がしているから」とよく考えずに行動したりして、きまりや約束を破ってしまい周りに迷惑をかけることもある。日常の様子では、よいことやよくないことの区別ができ、よくない行動をしている友達に注意したり、進んでごみを拾ったり、配布物を手伝ったりすることができる児童もいる。しかし、その反面、恥ずかしがったりものおじしたりして、よいと思っていなくても行動に移せない児童もいる。自分でよく考えて、よいことと悪いことの区別をし、よいことを進んで行うことの大切さに気付かせたい。

(3) 教材について

なかよしのぼんたとかんたは、公園で一緒に遊んでいたが、ぼんたが止めるのも聞かず、かんたは入ってはいけな裏山へ入ってしまう。ぼんたはじっと考えて、大きな声で「ぼくは行かないよ。だってあぶないから。」と叫ぶ。その声に驚いて、かんたが裏山から飛び出してくる。そして二人は裏山に行かないことに決め、気持ちよく公園で遊ぶ。

場面は違っても、児童の日常生活にもよく似たようなことがあるので、自分自身のことと重ね合わせて、二人の思いを想像しながら、よいことを進んで行うことについて考えることができる教材である。今回はぼんたの気持ちに寄り添って考えさせていきたい。

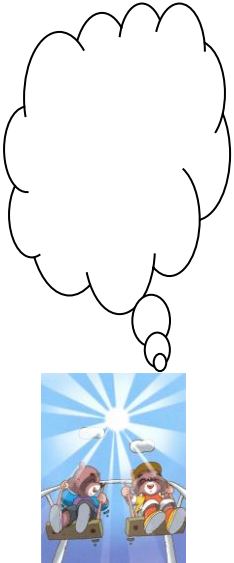
7 考えを深め合う授業の工夫

- ・教材を紙芝居で提示し、動作化や役割演技を通して、ぼんたの気持ちに寄り添って考えられるようにする。
- ・児童の発言に対して切り返しの発問をすることで、より深く考えさせるようにする。
- ・感想を書かせることで、本時の学習での気づきや自分の生活を振り返らせるようにする。

8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	・教材への興味を持つ。	一斉	秘密基地って聞いたことがありますか。どんな気持ちになりますか。 ・わくわくする。 ・行ってみたい。 ・おもしろそう。	・秘密基地で遊びたいという気持ちを持たせる。	・写真
展開	・教材を読む。	一斉	一人になったぼんたは、どんなことをじっと考えていたのでしょうか。 ・一緒に遊びたいな。 ・おもしろそうだな。 ・入ってはいけないうちに、いいのかなあ。 ・行ったらだめだ。 ・かんたは大丈夫かな。 ぼんたが大きな声で「ぼくは行かないよ。」と言ったのはなぜでしょう。 ・入ったらだめだから。 ・入ったらいけないと言われているから。 ・行ったら叱られるから。 ・危ないから。 ・かんたにも聞こえるようにするために。 ぼんたのいいなあと思うところはどこでしょう。 ・大きな声ではっきり言えたこと。 ・かんたにはっきり言えたこと。 ・約束を守ったこと。 ・自分で考えて、行かないと決めたこと。	・ぼんたの気持ちを考えながら聞くように促す。 ・役割演技を通して、ぼんたの遊びたい気持ちと自制する気持ちの葛藤を考えさせる。 ・強く思ったことに気付かせる。 ④ ぼんたは大きな声で言ってどんな気持ちになったでしょう。 ・自分で善悪を考えて判断したさすがしさに気付かせる。	・紙芝居 ・挿絵等 ・発問カード等 ・お面
	・一人でになったときのぼんたの葛藤を考える。	一斉		・自分で善悪を区別し、よいと思うことを行動できたよさに気付かせる。	※よいことと悪いことの区別をし、よいことを行うよさに気付くことができたか。 <発言・観察>
	・大声で「行かないよ。」と言ったぼんたの気持ちを考える。	一斉			
終末	・ぼんたのよいところに気付かせる。	ペア 一斉	この学習をして、思ったことや気付いたことを書きましょう。	・書く前にぼんたと似たようなことがなかったかなど、生活場面を少し振り返らせる。	※よいことと悪いことの区別をし、よいことを進んで行おうとする気持ちを持つことができたか。 <道徳ノート>
	・感想を書き、本時の学習を振り返る。	個別 一斉			

9 板書計画





大きなこえでいった



ひとりになったぼんた

だい かいどうとく

ひみつきち

ぼんたとかんた



10 道徳ノート

◎ じぶんのかんがえをいうことができた。

◎ ともだちのかんがえをきくことができた。

◎ しっかりとかんがえることができた。

ふりかえり



No.24

どうとく

『ぼんたとかんた』 月 日

なまえ ()